

第52回「全国漆器展」

～ 審査講評～

会 期： 平成29年10月5日（木）～18日（水）※審査会は5日（木）

会 場： 伝統工芸青山スクエア
〒107-0052 東京都港区赤坂 8-1-22

出展産地：	青 森 県（津 軽 塗）	秋 田 県（川連漆器）
	宮 城 県（鳴子漆器）	福 島 県（会 津 塗）
	東 京 都（江戸漆器）	長 野 県（木曾漆器）
	富 山 県（高岡漆器）	石 川 県（輪 島 塗）
	石 川 県（山中漆器）	石 川 県（金沢漆器）
	福 井 県（越前漆器）	和歌山県（紀州漆器）
	香 川 県（香川漆器）	

主 催： 日本漆器協同組合連合会
一般社団法人日本漆工協会
一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会

後 援： 経済産業省 ・ 厚生労働省 ・ 林野庁
日本経済新聞社 ・ (株)商工組合中央金庫
公益財団法人日本デザイン振興会
一般財団法人生活用品振興センター
日本百貨店協会 ・ 全国漆業連合会

協 賛： 「うるしの日」推進会議・実行委員会
東京漆器卸商業組合





農林水産大臣賞

[花塗金彩盤]

寿次郎(川連漆器)

作品題名にある「花塗」とは塗り立てを意味する。塗って仕上げるというシンプルな技法だが、高度な技術を要し容易にはいかない。漆液の調整を丹念に行い、漆を熟知しなければ漆の艶は美しく仕上げることはできない。本作品は花塗の漆黒と金彩が小気味好く効果的に配され、優美な作品となっている。



林野庁長官賞

[紀州(杉)波紋皿]

角田 景郷(紀州漆器)

木の風合いを敢えて残す摺漆仕上げ、漆と木地を見せる作品。杉の躍動的な杣目と作者が感じた波紋のイメージとが重なり、小ぶりの作品ではあるが迫力のある仕上がりになっている。自己の想像するイメージに強引に寄せ過ぎず、素材と対話し、木の持つ力を作者が感じながら形を選び、造形したことが伝わる優作である。



日本経済新聞社賞

[色紙箱花蒔醤]

文新堂漆器工業有限会社(香川漆器)

蒔醤とは漆面に特殊な刃物で彫りを施し、色漆を充填し研ぎ出す技法である。香川県の代表的な技法の一つ。本作品は植物の生き生きとした生命感を朱漆に思いを込めて表現されている。朱漆の単色に絞り表現したことで独特な雰囲気を感じさせ、目を引いた作品であった。緻密で丁寧な仕事が魅力に繋がっている。



一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞

[乾漆鮫皮塗コンポート]

大上 博(江戸漆器)

作品題名にある乾漆とは、材料に漆と麻布と土を用いる。この技法の特徴は自由度の高い造形が可能であり、重さも軽く仕上げられる。また鮫皮塗りとは、鱧の皮を漆面に貼り装飾する技法である。両技法とも大変時間を要し作者の拘りが伝わる。可愛らしく花をデザインし脚を付けたお皿、日本の伝統的な技術を用いているが西洋的な感覚を感じる作品に仕上がっている。



全国漆業連合会会長賞
[縄胎朱塗蒟醬線文盛器]
西岡春雪漆工房(香川漆器)

縄胎とは麻紐を巻き、胎を造る技法である。この作品は非常に細い紐を用い成形し朱漆と黒漆で量し塗りを施している。巻いた紐目が薄っすらと品良く凹凸を作り、作者の細かな拘りを感じる。また縁に朱の蒟醬をシンプルに施すことで紐目との響き合いも心地が良い。



一般社団法人日本漆工協会会長賞
[加賀蒔絵 小紋 長手小箱]
清瀬 明人(金沢漆器)

言うまでもなく蒔絵は日本の代表的な技法で、漆黒の「無」の世界に金属粉の「光り」の対比効果が美しい表現である。本作品は、直線的な箱の形状に合わせ、意匠も直線のための構成でまとめている。シンプルな構成であるが、緻密な伝統文様が小気味好く見えるよう作者の意図を感じる。丁寧な仕事が心地よい作品に仕上がっている。



審査員特別賞
[青彩変り塗 小鉢セット]
大森 茂光(会津塗)

本作品は、色の違う漆を幾層にも塗り重ね、最終的に研ぐことで等高線のような模様が浮かび上がる変り塗り技法で作られている。積層する色漆と作者の研ぎ具合で模様に違いができる。5点あることで個々の器の模様の変化が有機的で面白い。内側に使われている緑漆と縁だけに微かに使われている朱漆の補色対比が効果的である。



奨励賞
[溜塗丸卓]
木村 貞夫(越前漆器)

朱溜塗は朱漆の上に素黒目漆（透漆）を塗る技法である。この技法は上塗り漆の塗膜の厚みの違いにより斑になり易く難度が非常に高い。前項にも書いたが、塗り立ては漆を熟知していなければ美しく仕上がらない。本作品は2つの円板と絶妙な反りのある2本の脚で繋がれシンプルに仕上がり緊張感を感じる。埃も色斑もない精緻を極めた塗りの技術で凛とした作品に仕上がっている。

第52回「全国漆器展」個人賞（美術工芸品部門）

賞名	出品番号	品名	出品者	産地組合名
農林水産大臣賞	103	花塗金彩盤	寿次郎	秋田県漆器工業協同組合
林野庁長官賞	1401	紀州(杉)波紋皿	角田景郷	紀州漆器協同組合
日本経済新聞社賞	1504	色紙箱花蒔罎	文新堂漆器工業㈱	香川県漆器工業協同組合
一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞	501	乾漆鮫皮塗コンボート	大上 博	東京都漆器商工業協同組合
全国漆業連合会会長賞	1501	襦胎朱塗蒔罎縁文盛器	西岡春雪漆工房	香川県漆器工業協同組合
一般社団法人日本漆工協会会長賞	1201	加賀蒔絵 小紋 長手小箱	清瀬明人	金沢漆器商工業協同組合
審査員特別賞	303	青彩変り塗 小鉢セット	大森茂光	会津漆器協同組合
奨励賞	1302	溜塗丸卓	木村貞夫	越前漆器協同組合

産地組合名	出品番号	品名	出品者	作品合計				
				市場性	デザイン性	技術力	選定P	小計
秋田県漆器工業協同組合	103	花塗金彩盤	寿次郎	12	14	16	40	82
紀州漆器協同組合	1401	紀州(杉)波紋皿	角田景郷	14	18	16	40	88
香川県漆器工業協同組合	1504	色紙箱花蒔罎	文新堂漆器工業㈱	12	16	14	40	82
東京都漆器商工業協同組合	501	乾漆鮫皮塗コンボート	大上 博	10	14	16	40	80
香川県漆器工業協同組合	1501	襦胎朱塗蒔罎縁文盛器	西岡春雪漆工房	7	13	11	30	61
金沢漆器商工業協同組合	1201	加賀蒔絵 小紋 長手小箱	清瀬明人	9	9	13	30	61
会津漆器協同組合	303	青彩変り塗 小鉢セット	大森茂光	9	9	13	30	61
越前漆器協同組合	1302	溜塗丸卓	木村貞夫	7	9	9	30	55
山中漆器連合協同組合	1101	12.0 丸盆 刷毛目 青海波	㈱小原文平漆器店	10	6	10	20	46
香川県漆器工業協同組合	1505	存清平裏「菊」	中田漆木	10	8	8	20	46
木曾漆器工業協同組合	601	壺 墨 刷毛目	宮原正志	8	8	8	20	44
会津漆器協同組合	304	キングアジュール	大森 弘	8	8	6	20	42
輪島漆器商工業協同組合	1002	香炉 御所車	津田漆器店	4	8	10	20	42
輪島漆器商工業協同組合	1003	ラグビー盆	中濱漆器店	6	8	8	20	42
東京都漆器商工業協同組合	502	襦江戸蒔絵盛器	酒井貞博	8	6	6	20	40
山中漆器連合協同組合	1104	乾漆 花水木 合子	㈱うるしアートはりや	8	6	6	20	40
越前漆器協同組合	1304	R2寸 盛器	山田秀樹	6	6	8	20	40

美術工芸品部門 得票数上位 17 作品

【審査方法】

- 各産地より予備審査で選出された「美術工芸品部門 43 作品」を対象として、各部門の審査員は、以下の評価ポイントなどを勘案し審査を実施した。

審査 部門	出品 内容	出品 条件	評価ポイント			
			市場性	デザイン性	技術力	機能性 (日常性)
			「売れる」観点での評価			
			販売ターゲットが明確 価格設定が優れている	見た目に美しい 使い勝手に優れている	卓越した技術力、伝統 的な技法の採用 革新的な技術の採用	現在のライフスタイル にあった機能の保持 新たな提案
美術 工芸品	漆器	新作 少量品	◎	◎	◎	○

- 評価ポイント毎に「非常によい」「よい」「ふつう」の3段階で評価した上で、審査員は担当部門の10品を選出し、各部門の総得票数の上位10作品程度を最終候補作品とし、以下の順で個人賞を決定した。
 - (1) 得票数上位4作品による決戦投票を実施し、決戦投票での得票数上位より、農林水産大臣賞以降4つの各賞を決定した。（よって得票数と順位が一致していない）
 - (2) 得票数5位から8位の作品は、得票数上位より、全国漆業連合会会長賞以降4つの各賞を決定した。
なお、得票数が同数の場合は各賞の交付団体・組織の意見なども考慮した。



経済産業大臣賞
[引き出し(大・小)と小箱]
畑 勝日佐(高岡漆器)

審査員の方から「私こういうの貰ったらすごく嬉しいな♪」とコメントが飛び出しました。私も同じ意見です。パッと見て「欲しい!」と思えて、それでいてサイズ感、機能性、コストパフォーマンス、どれも理想的であり現実的。色がとても美しく、高いクオリティ、所有する喜びを味わうことの出来る逸品です。



経済産業省製造産業局長賞
[櫛 笥弁当 木地呂塗]
有限会社中出漆器店(山中漆器)

一見とても渋いんですよ。審査でも、周りの方がどう思われるかはわからないけど自分はこういうの好き、という気持ちで票を入れ、開票してみるとこの結果。派手とか、新規性があるとか、そういうことじゃ無いんですね。良い作品は、皆が良いと思うものです。細部に渡る素敵な造形センス、笥を模したそのサイズ感、お弁当箱として日々所有する喜びを感じられる、趣のある素敵な作品です。



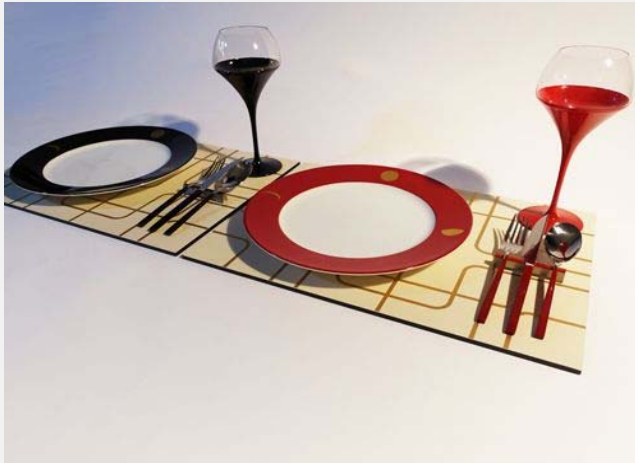
株式会社商工組合中央金庫社長賞
[ころん Pettit・Petite]
越前漆器協同組合(越前漆器)

マカロンのかたちをしたジュエリーBOX。カラフルで楽しい雰囲気が作品から滲み出ています。漆の作品ってどういうの?と言われた時に想像するかしこまったイメージとはまったく違った、ポップでかわいい、遊び心のある表現です。漆の表現と社会を繋げる新しい扉が開きそうで、ワクワクします。



公益財団法人日本デザイン振興会賞
[VYAC CARD CASE]
土田 直東(越前漆器)

漆を生活に取り入れることってハードルが高いのでしょうか?暮らし方から変える必要があるのでしょうか?いえいえそんなことはありません。これならばすぐにでも使ってみようかな、と思える名刺ケースです。内部には名刺がしっかりとホールドされる構造が付いていて、機能性もバッチリ。ビジネスシーンにおいて、センス良く使いこなしたいものです。



一般財団法人生活用品振興センター理事長賞
[らしくシリーズ デイナーセット 粋黒・朱]
株式会社本山漆器店(木曽漆器)

金属、陶器、ガラスなど様々な素材に、漆を通してひとつの世界感を創り出しているところがチャレンジングでありとても魅力的です。このセットが使われているディナーシーンを、ぱっと頭に思い浮かべることが出来ます。漆製品の裾野を広げるこの挑戦に対して、とても期待が膨らみます。



日本漆器協同組合連合会理事長賞
[喰籠 雲流]
高野 順一(越前漆器)

開いた時の内面の漆の美しさ、重ねた時にさっとツラが揃う品の高い気持ちよさ、表面は木目の美しさを際立たせる為に拭き漆を 30 回も重ねているそうで、表現がとても繊細でずっと眺めていたくなる逸品です。高額なものです、いつかは欲しいと所有欲を抱かせる表現のちからこそ、産業工芸に必要な不可欠な要素だと感じます。



審査員特別賞
[2 段丸重胴筋入象谷]
株式会社川口屋漆器店(香川漆器)

まずデザインが素敵だなと思いました。マットな面は持ちやすさを考慮し、また同心円状の光沢のあるラインが全体の緊張感を創り出しています。丁度良いサイズ感であり、持ちやすさや蓋の開けやすさなど機能美が集結していて、所有する方の心を奪います。蓋を開けると鏡面のような光沢感。このコントラストが素敵です。漆と一緒に過ごす時間が、長い時をかけて思い出として刻まれて味になっていくことが期待出来ます。



奨励賞
[G I N G A 丸プレート・小皿セット]
福西 正樹(会津塗)

グローバルな時代に於いて、これが日本の漆だ！と世界に向けてわかりやすく表現しているところが高評価でした。今回の配置はおそらく宇宙観を意識しての配置になっているのかと思いますが、目的に応じて自由な使い方が出来ることもこの作品の魅力に繋がっています。

第52回「全国漆器展」個人賞（産業工芸品部門）

賞名	出品番号	品名	出品者	産地組合名
経済産業大臣賞	904	引き出し（大・小）と小箱	畑勝日佐	伝統工芸高岡漆器協同組合
経済産業省製造産業局長賞	1108	檜 菊弁当 本地呂塗	側中出漆器店	山中漆器連合協同組合
株式会社商工組合中央金庫社長賞	1307	ころん Petit・Petite	越前漆器協同組合	越前漆器協同組合
公益財団法人日本デザイン振興会賞	1309	VYAC CARD CASE	土田直葉	越前漆器協同組合
一般財団法人生活用品振興センター理事長賞	606	らしくシリーズ ディナーセット 粋黒・朱	柿本山漆器店	木曾漆器工業協同組合
日本漆器協同組合連合会理事長賞	1310	喚醒 雲流	高野順一	越前漆器協同組合
審査員特別賞	1507	2段丸重胴筋入象谷	柿川口屋漆器店	香川県漆器工業協同組合
奨励賞	306	G I N G A 丸プレート・小皿セット	福西正樹	会津漆器協同組合

産地組合名	品番	品名	出品者	作品合計				
				市場性	デザイン性	機能性	選定P	小計
伝統工芸高岡漆器協同組合	904	引き出し（大・小）と小箱	畑勝日佐	19	23	19	50	111
山中漆器連合協同組合	1108	檜 菊弁当 本地呂塗	側中出漆器店	19	17	23	50	109
越前漆器協同組合	1307	ころん Petit・Petite	越前漆器協同組合	18	18	14	40	90
越前漆器協同組合	1309	VYAC CARD CASE	土田直葉	16	18	16	40	90
木曾漆器工業協同組合	606	らしくシリーズ ディナーセット 粋黒・朱	柿本山漆器店	16	16	12	40	84
越前漆器協同組合	1310	喚醒 雲流	高野順一	12	16	14	40	82
香川県漆器工業協同組合	1507	2段丸重胴筋入象谷	柿川口屋漆器店	15	13	13	30	71
会津漆器協同組合	306	G I N G A 丸プレート・小皿セット	福西正樹	11	13	11	30	65
伝統工芸高岡漆器協同組合	906	飾り台（大・中・小）	氏家漆器柿	13	13	11	30	67
会津漆器協同組合	307	朱変り塗 丸皿セット（大・中）	大森茂光	11	13	11	30	65
秋田県漆器工業協同組合	105	柄すり漆サーパスブーン	大関 功	8	10	10	20	48
越前漆器協同組合	1306	陣絵皿 風流	橋本一弘	8	10	8	20	46
香川県漆器工業協同組合	1508	象谷塗ピアカップ夫婦セット	中田漆木	10	8	8	20	46
香川県漆器工業協同組合	1509	オーナメント 霜月	柿森繁	8	10	8	20	46
木曾漆器工業協同組合	607	WA（和）TOSO	柿山加賀村漆器店	6	10	8	20	44
越前漆器協同組合	1308	The sky（大・小）	越前漆器協同組合	10	6	8	20	44

産業工芸品部門 得票数上位 16 作品

【審査方法】

- 各産地より予備審査で選出された「産業工芸品部門 45 作品」を対象として、各部門の審査員は、以下の評価ポイントなどを勘案し審査を実施した。

審査 部門	出品 内容	出品 条件	評価ポイント			
			市場性	デザイン性	技術力	機能性 (日常性)
			「売れる」観点での評価			
			販売ターゲットが明確 価格設定が優れている	見た目に美しい 使い勝手に優れている	卓越した技術力、伝統 的な技法の採用 革新的な技術の採用	現在のライフスタイル にあった機能の保持 新たな提案
産業 工芸品	漆器 合成漆器	新作 量産品	◎	◎	○	◎

- 評価ポイント毎に「非常によい」「よい」「ふつう」の3段階で評価した上で、審査員は担当部門の10品を選出し、各部門の総得票数の上位10作品程度を最終候補作品とし、以下の順で個人賞を決定した。
 - (1) 得票数上位7作品は、得票数上位より、経済産業大臣賞以降の7つの各賞を決定した。
なお、得票数が同数の場合は各賞の交付団体・組織の意見なども考慮した。
 - (2) 得票数8位から10位の3作品による決戦投票を実施し、決戦投票での得票数1位の作品を奨励賞に決定した。（よって得票数と順位が一致していない）

団体賞受賞産地組合

賞名	産地組合名	総得点
桂宮賞	越前漆器協同組合	533
内閣総理大臣賞	香川県漆器工業協同組合	463
日本経済新聞社賞	山中漆器連合協同組合	368

産地組合別ポイント集計表

産地組合名	美術工芸品部門					産業工芸品部門					合計	受賞 加点	総得点
	市場性	デザイン性	技術力	選定P	小計	市場性	デザイン性	機能性	選定P	小計			
越前漆器協同組合	20	22	24	80	146	64	68	60	160	352	498	35	533
香川県漆器工業協同組合	35	45	43	110	233	37	41	37	90	205	438	25	463
山中漆器連合協同組合	22	22	24	60	128	38	40	42	100	220	348	20	368
伝統工芸高岡漆器協同組合	6	8	8	20	42	48	52	42	120	262	304	30	334
会津漆器協同組合	25	27	27	70	149	28	34	30	80	172	321	10	331
木曽漆器工業協同組合	22	22	20	60	124	25	29	23	70	147	271	10	281
秋田県漆器工業協同組合	13	15	17	50	95	21	21	19	50	111	206	30	236
輪島漆器商工業協同組合	28	36	36	100	200	0	0	0	0	0	200	0	200
東京都漆器商工業協同組合	18	20	22	60	120	0	0	0	0	0	120	10	130
紀州漆器協同組合	14	18	16	40	88	0	0	0	0	0	88	20	108
鳴子漆器協同組合	4	6	8	20	38	6	6	8	20	40	78	0	78
金沢漆器商工業協同組合	9	9	13	30	61	0	0	0	0	0	61	10	71
青森県漆器協同組合連合会	0	0	0	0	0	3	5	5	10	23	23	0	23

団体賞受賞産地組合と産地組合別ポイント集計表



審査風景

第 52 回「全国漆器展」審査員名簿

審査 員長	東京藝術大学 参与 名誉教授 三田村有純	
部門	産業工芸品	美術工芸品
審査 部門長	東京藝術大学デザイン科 准教授 鈴木 太朗	東京藝術大学工芸科 准教授 青木 宏憧
審査員	経済産業省 製造産業局 生活製品課 企画官 栗田 豊滋	林野庁 林政部 経営課 特用林産対策室長 長江 良明
	江上料理学院 院長 江上 栄子	公益社団法人全国調理師養成施設協会 会長 服部 幸應
	株式会社三越伊勢丹 執行役員 笹森 良子	株式会社世界文化社 代表取締役社長 鈴木美奈子
	公益財団法人日本デザイン振興会 常務理事 齊藤 光好	一般財団法人伝統の工芸品産業振興協会 代表理事 安藤 重良
	一般財団法人生活用品振興センター 理事長 長谷川澄雄	全国漆業連合会 副会長 坂本 恵一
	日本漆器協同組合連合会 理事長 土田 直	一般社団法人日本漆工協会 理事長 玉川 義隆

(敬称略・順不同)

「全国漆器展」歴代受賞産地組合一覧（団体賞）

団体賞は、個人賞で獲得したポイントを産地毎に集計した総得点の上位3産地に贈られる賞であり、最優秀団体賞として桂宮賞が贈られます。

回	年	桂宮賞	内閣総理大臣賞	日本経済新聞社賞
1	昭和42(1967)年	会津漆器協同組合連合会	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合
2	昭和43(1968)年	東京都漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	木曽漆器工業協同組合
3	昭和44(1969)年	東京都漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合
4	昭和45(1970)年	青森県漆器協同組合連合会	秋田県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合
5	昭和46(1971)年	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会
6	昭和47(1972)年	木曽漆器工業協同組合	神奈川県漆器連合会	富山県漆器商工業協同組合
7	昭和48(1973)年	富山県漆器商工業協同組合	富山県漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会
8	昭和49(1974)年	石川県漆器連合会	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合
9	昭和50(1975)年	長野県木曽漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	秋田県漆器工業協同組合
10	昭和51(1976)年	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合	木曽漆器工業協同組合
11	昭和52(1977)年	木曽漆器工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会
12	昭和53(1978)年	青森県漆器協同組合連合会	会津漆器協同組合連合会	木曽漆器工業協同組合
13	昭和54(1979)年	富山県漆器商工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	青森県漆器協同組合連合会
14	昭和55(1980)年	青森県漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合	富山県漆器商工業協同組合
15	昭和56(1981)年	青森県漆器協同組合連合会	木曽漆器工業協同組合	秋田県漆器工業協同組合
16	昭和57(1982)年	越前漆器協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会
17	昭和58(1983)年	青森県漆器協同組合連合会	伝統工芸高岡漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会
18	昭和59(1984)年	木曽漆器工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	会津漆器協同組合連合会
19	昭和60(1985)年	伝統工芸高岡漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合
20	昭和61(1986)年	伝統工芸高岡漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会
21	昭和62(1987)年	会津漆器協同組合連合会	木曽漆器工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合
22	昭和63(1988)年	会津漆器協同組合連合会	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合
23	平成元(1989)年	秋田県漆器工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	香川漆器工業協同組合
24	平成 2(1990)年	越前漆器協同組合	青森県漆器協同組合連合会	香川漆器工業協同組合
25	平成 3(1991)年	青森県漆器協同組合連合会	越前漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会
26	平成 4(1992)年	青森県漆器協同組合連合会	木曽漆器工業協同組合	越前漆器協同組合
27	平成 5(1993)年	山中漆器連合協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会
28	平成 6(1994)年	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会
29	平成 7(1995)年	山中漆器連合協同組合	越前漆器協同組合	香川漆器工業協同組合
30	平成 8(1996)年	越前漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	香川漆器工業協同組合
31	平成 9(1997)年	伝統工芸高岡漆器協同組合	木曽漆器工業協同組合	山中漆器連合協同組合
32	平成10(1998)年	輪島漆器商工業協同組合	秋田県漆器工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合
33	平成11(1999)年	香川県漆器工業協同組合	山中漆器連合協同組合	青森県漆器協同組合連合会
34	平成12(2000)年	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合	木曽漆器工業協同組合
35	平成13(2001)年	伝統工芸高岡漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	香川漆器工業協同組合
36	平成14(2002)年	越前漆器協同組合	山中漆器連合協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合
37	平成15(2003)年	会津漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合
38	平成15(2003)年	伝統工芸高岡漆器協同組合	越前漆器協同組合	木曽漆器工業協同組合
39	平成16(2004)年	輪島漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合	鳴子漆器協同組合
40	平成17(2005)年	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合
41	平成18(2006)年	輪島漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合
42	平成19(2007)年	伝統工芸高岡漆器協同組合	越前漆器協同組合	山中漆器連合協同組合
43	平成20(2008)年	輪島漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合
44	平成21(2009)年	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合
45	平成22(2010)年	秋田県漆器工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合
46	平成23(2011)年	越前漆器協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	山中漆器連合協同組合
47	平成24(2012)年	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合
48	平成25(2013)年	越前漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	香川漆器工業協同組合
49	平成26(2014)年	—	越前漆器協同組合	香川漆器工業協同組合
50	平成27(2015)年	越前漆器協同組合	山中漆器連合協同組合	輪島漆器商工業協同組合
51	平成28(2016)年	山中漆器連合協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合
52	平成29(2017)年	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	山中漆器連合協同組合

※桂宮賞について：第21回までは高松宮賞 第22回は三笠宮賞として下賜。第49回展はご逝去により未交付。

今回の審査講評は、受賞作品の決定後、審査員の皆様からの各作品へのコメント・評価ポイントなどを部門長が取りまとめ、講評に反映しています。特に産業工芸品部門においては臨場感あふれる内容になっており、審査員の各作品への思いが伝わってくる内容になっています。

第 52 回「全国漆器展」審査講評

平成 29 年 10 月 11 日制作

制 作 日本漆器協同組合連合会 事務局

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二丁目 15 番 2 号 松島ビル 4F

一般財団法人生活用品振興センター内

TEL 03-3639-8882 FAX 03-3639-8880 E-mail info@shikki.or.jp

URL <http://www.shikki.or.jp/>

本資料を引用・転載する場合は、制作宛にご一報ください。

なお、日本漆器協同組合連合会会員においてはこの限りではありません。